

表19-① 二次医療圏別の精神疾患を副傷病名とする虚血性心疾患の増減比率予想

順位	都道府県名	二次医療圏名	2015年	都道府県名	二次医療圏名	2025年	都道府県名	二次医療圏名	2035年
1	埼玉県	南西部	1.31	埼玉県	南西部	1.97	神奈川県	相模原	2.36
2	千葉県	千葉	1.30	神奈川県	相模原	1.95	愛知県	西三河北部	2.35
3	神奈川県	相模原	1.29	千葉県	千葉	1.93	埼玉県	南西部	2.30
4	千葉県	東葛南部	1.29	千葉県	東葛南部	1.90	千葉県	千葉	2.27
5	東京都	南多摩	1.27	千葉県	東葛北部	1.87	千葉県	印旛	2.26
6	千葉県	東葛北部	1.27	愛知県	西三河北部	1.87	千葉県	東葛南部	2.25
7	大阪府	北河内	1.26	千葉県	印旛	1.84	千葉県	東葛北部	2.17
8	愛知県	西三河北部	1.25	東京都	南多摩	1.83	福岡県	筑紫	2.17
9	千葉県	印旛	1.25	千葉県	市原	1.80	東京都	南多摩	2.14
10	愛知県	尾張東部	1.25	埼玉県	川越比企	1.80	千葉県	市原	2.13
11	埼玉県	さいたま	1.25	大阪府	北河内	1.79	埼玉県	さいたま	2.13
12	千葉県	市原	1.25	愛知県	尾張東部	1.79	滋賀県	湖南	2.13
13	東京都	北多摩西部	1.25	埼玉県	さいたま	1.79	京都府	山城南	2.13
14	愛知県	尾張北部	1.25	大阪府	三島	1.78	愛知県	尾張東部	2.11
15	大阪府	三島	1.25	愛知県	尾張北部	1.77	埼玉県	川越比企	2.10
16	愛知県	海部津島	1.25	神奈川県	湘南西部	1.77	神奈川県	川崎北部、川崎南部	2.07
17	神奈川県	川崎北部、川崎南部	1.24	神奈川県	湘南東部	1.75	神奈川県	湘南西部	2.05
18	神奈川県	横浜北部、西部、南部	1.24	愛知県	海部津島	1.74	神奈川県	湘南東部	2.04
19	神奈川県	湘南東部	1.24	福岡県	筑紫	1.73	神奈川県	横浜北部、西部、南部	2.03
20	埼玉県	川越比企	1.24	埼玉県	県央	1.73	福岡県	粕屋	2.02
21	神奈川県	湘南西部	1.24	京都府	山城北	1.73	愛知県	尾張北部	2.01
22	東京都	北多摩北部	1.24	神奈川県	横浜北部、西部、南部	1.72	埼玉県	県央	2.01
23	大阪府	豊能	1.24	滋賀県	湖南	1.72	茨城県	取手・竜ヶ崎	2.01
24	大阪府	堺市	1.24	東京都	北多摩西部	1.71	北海道	札幌	2.01
25	愛知県	尾張中部	1.24	神奈川県	川崎北部、川崎南部	1.71	福岡県	福岡・糸島	2.01
26	福岡県	筑紫	1.23	大阪府	堺市	1.71	兵庫県	阪神北	1.99
27	埼玉県	県央	1.23	愛知県	尾張中部	1.70	愛知県	西三河南部	1.99
28	兵庫県	阪神北	1.23	兵庫県	阪神北	1.70	滋賀県	大津	1.99
29	京都府	山城北	1.23	茨城県	取手・竜ヶ崎	1.70	大阪府	三島	1.98
30	大阪府	南河内	1.23	京都府	山城南	1.70	東京都	北多摩西部	1.97
31	滋賀県	湖南	1.22	大阪府	豊能	1.69	京都府	山城北	1.96
32	北海道	札幌	1.22	埼玉県	利根	1.68	埼玉県	利根	1.95
33	東京都	北多摩南部	1.22	大阪府	南河内	1.67	大阪府	北河内	1.94
34	東京都	区西北部	1.22	佐賀県	東部	1.66	東京都	北多摩南部	1.90
35	佐賀県	東部	1.22	東京都	北多摩北部	1.65	宮城県	仙台	1.90
36	愛知県	海部	1.22	北海道	札幌	1.65	東京都	北多摩北部	1.89
37	大阪府	中河内	1.22	愛知県	海部	1.65	大阪府	豊能	1.88
38	愛知県	西三河南部	1.21	大阪府	中河内	1.64	佐賀県	東部	1.88
39	滋賀県	大津	1.21	愛知県	西三河南部	1.64	大阪府	堺市	1.87
40	茨城県	取手・竜ヶ崎	1.21	福岡県	粕屋	1.64	愛知県	尾張中部	1.86
41	埼玉県	利根	1.21	滋賀県	大津	1.63	東京都	区西北部	1.86
42	愛知県	知多半島	1.21	奈良県	西和	1.63	茨城県	つくば	1.86
43	兵庫県	神戸	1.21	東京都	区西北部	1.62	愛知県	海部津島	1.85
44	大阪府	泉州	1.21	愛知県	知多半島	1.62	大阪府	南河内	1.84
45	兵庫県	東播磨	1.21	大阪府	泉州	1.62	愛知県	知多半島	1.84
46	奈良県	奈良	1.21	兵庫県	東播磨	1.62	栃木県	県東・央	1.84
47	愛知県	尾張西部	1.21	愛知県	尾張西部	1.62	兵庫県	東播磨	1.83
48	京都府	山城南	1.20	福岡県	福岡・糸島	1.62	沖縄県	南部	1.83
49	福岡県	福岡・糸島	1.20	東京都	北多摩南部	1.61	奈良県	西和	1.82
50	福岡県	粕屋	1.20	奈良県	奈良	1.60	沖縄県	八重山	1.82
51	宮城県	仙台	1.20	東京都	西多摩	1.59	大阪府	泉州	1.81
52	沖縄県	南部	1.20	宮城県	仙台	1.58	東京都	西多摩	1.81
53	東京都	区東部	1.20	千葉県	君津	1.58	滋賀県	甲賀	1.81
54	奈良県	西和	1.20	兵庫県	神戸	1.57	愛知県	海部	1.80
55	兵庫県	阪神南	1.20	東京都	区東部	1.57	奈良県	奈良	1.80
56	愛知県	名古屋	1.20	奈良県	中和	1.57	愛知県	尾張西部	1.79
57	東京都	西多摩	1.19	沖縄県	南部	1.56	千葉県	君津	1.79

表19-② 二次医療圏別の精神疾患を副傷病名とする虚血性心疾患の増減比率予想

順位	都道府県名	二次医療圏名	2015年	都道府県名	二次医療圏名	2025年	都道府県名	二次医療圏名	2035年
58	佐賀県	西部	1.19	兵庫県	阪神南	1.56	佐賀県	西部	1.79
59	奈良県	中和	1.19	佐賀県	西部	1.55	兵庫県	神戸	1.78
60	千葉県	君津	1.19	愛知県	名古屋	1.54	奈良県	中和	1.78
61	北海道	東胆振	1.19	愛知県	東三河南部	1.53	広島県	広島	1.78
62	東京都	区東北部	1.19	広島県	広島	1.53	福岡県	宗像	1.78
63	愛知県	東三河南部	1.18	北海道	東胆振	1.52	宮崎県	宮崎東諸県	1.78
64	宮崎県	宮崎東諸県	1.18	栃木県	県東・央	1.52	東京都	区東部	1.77
65	広島県	広島	1.18	茨城県	つくば	1.52	兵庫県	阪神南	1.77
66	静岡県	富士	1.18	静岡県	富士	1.51	愛知県	東三河南部	1.77
67	静岡県	駿東田方	1.18	福岡県	宗像	1.51	群馬県	伊勢崎	1.76
68	北海道	十勝	1.18	宮崎県	宮崎東諸県	1.50	大阪府	中河内	1.74
69	大阪府	大阪市	1.18	三重県	北勢	1.50	北海道	東胆振	1.74
70	青森県	八戸地域	1.18	静岡県	駿東田方	1.49	東京都	区西南部	1.74
71	神奈川県	横須賀・三浦	1.18	滋賀県	甲賀	1.49	広島県	広島西	1.74
72	栃木県	県東・央	1.17	大阪府	大阪市	1.48	石川県	石川中央	1.74
73	東京都	区西南部	1.17	神奈川県	横須賀・三浦	1.48	愛知県	名古屋	1.73
74	滋賀県	甲賀	1.17	東京都	区西南部	1.48	静岡県	中東遠	1.73
75	福岡県	宗像	1.17	広島県	広島西	1.48	茨城県	鹿行	1.73
76	広島県	広島西	1.17	岐阜県	岐阜	1.48	静岡県	富士	1.71
77	三重県	北勢	1.17	群馬県	伊勢崎	1.48	三重県	北勢	1.70
78	東京都	区南部	1.17	石川県	石川中央	1.48	群馬県	太田・館林	1.70
79	岩手県	盛岡	1.17	東京都	区東北部	1.47	茨城県	古河・坂東	1.70
80	岐阜県	岐阜	1.17	東京都	区南部	1.47	茨城県	土浦	1.69
81	兵庫県	中播磨	1.17	茨城県	土浦	1.47	東京都	区西部	1.67
82	北海道	上川中部	1.17	群馬県	太田・館林	1.47	茨城県	水戸	1.67
83	静岡県	静岡	1.17	北海道	十勝	1.46	静岡県	駿東田方	1.66
84	茨城県	つくば	1.16	兵庫県	中播磨	1.46	東京都	区中央部	1.66
85	群馬県	伊勢崎	1.16	茨城県	古河・坂東	1.46	沖縄県	中部	1.66
86	静岡県	中東遠	1.16	北海道	上川中部	1.45	和歌山県	那賀	1.65
87	石川県	石川中央	1.16	静岡県	静岡	1.45	熊本県	熊本	1.65
88	東京都	区西部	1.16	静岡県	中東遠	1.45	熊本県	菊池	1.65
89	熊本県	熊本	1.16	東京都	区西部	1.45	東京都	区南部	1.64
90	沖縄県	中部	1.16	京都府	京都・乙訓	1.45	北海道	十勝	1.64
91	茨城県	水戸	1.16	茨城県	日立	1.45	群馬県	前橋	1.63
92	茨城県	土浦	1.16	茨城県	鹿行	1.45	岩手県	盛岡	1.63
93	群馬県	前橋	1.16	茨城県	水戸	1.44	岐阜県	岐阜	1.62
94	京都府	京都・乙訓	1.16	群馬県	前橋	1.44	千葉県	山武長生夷隅	1.62
95	広島県	福山・府中	1.16	広島県	福山・府中	1.44	広島県	福山・府中	1.61
96	静岡県	志太榛原	1.16	青森県	八戸地域	1.43	青森県	八戸地域	1.61
97	岡山県	県南西部	1.16	静岡県	志太榛原	1.43	群馬県	高崎・安中	1.61
98	茨城県	日立	1.16	岩手県	盛岡	1.42	愛媛県	松山	1.61
99	青森県	上十三地域	1.16	岡山県	県南西部	1.42	兵庫県	中播磨	1.60
100	秋田県	秋田周辺	1.16	群馬県	高崎・安中	1.42	北海道	上川中部	1.60
101	北海道	北網	1.16	神奈川県	県西	1.42	静岡県	志太榛原	1.60
102	北海道	根室	1.16	東京都	区中央部	1.42	福岡県	久留米	1.60
103	静岡県	熱海伊東	1.16	和歌山県	那賀	1.42	広島県	広島中央	1.60
104	北海道	釧路	1.16	千葉県	山武長生夷隅	1.42	岐阜県	中濃	1.59
105	沖縄県	八重山	1.15	熊本県	熊本	1.41	滋賀県	東近江	1.59
106	茨城県	鹿行	1.15	沖縄県	中部	1.41	大阪府	大阪市	1.58
107	熊本県	菊池	1.15	岡山県	県南東部	1.41	京都府	京都・乙訓	1.58
108	茨城県	古河・坂東	1.15	福岡県	久留米	1.41	岡山県	県南東部	1.58
109	愛媛県	松山	1.15	北海道	根室	1.40	京都府	南丹	1.58
110	岡山県	県南東部	1.15	静岡県	熱海伊東	1.40	山梨県	中北	1.58
111	福岡県	久留米	1.15	沖縄県	八重山	1.40	茨城県	常陸太田・ひたちなか	1.58
112	群馬県	高崎・安中	1.15	愛媛県	松山	1.40	群馬県	渋川	1.58
113	三重県	中勢伊賀	1.15	京都府	南丹	1.40	神奈川県	横須賀・三浦	1.57
114	神奈川県	県西	1.15	三重県	中勢伊賀	1.39	静岡県	静岡	1.57

表19-③ 二次医療圏別の精神疾患を副傷病名とする虚血性心疾患の増減比率予想

順位	都道府県名	二次医療圏名	2015年	都道府県名	二次医療圏名	2025年	都道府県名	二次医療圏名	2035年
115	徳島県	東部 I	1.15	山梨県	中北	1.39	茨城県	日立	1.57
116	岐阜県	東濃	1.15	岐阜県	中濃	1.39	神奈川県	県西	1.57
117	福岡県	北九州	1.15	茨城県	常陸太田・ひたちなか	1.39	香川県	高松	1.57
118	青森県	青森地域	1.15	岐阜県	西濃	1.39	岡山県	県南西部	1.56
119	東京都	区中央部	1.14	広島県	広島中央	1.39	群馬県	藤岡	1.56
120	群馬県	太田・館林	1.14	北海道	北網	1.38	滋賀県	湖東	1.56
121	和歌山県	那賀	1.14	北海道	釧路	1.38	鹿児島県	鹿児島	1.56
122	千葉県	山武長生夷隅	1.14	熊本県	菊池	1.38	東京都	区東北部	1.55
123	山梨県	中北	1.14	群馬県	渋川	1.38	三重県	中勢伊賀	1.55
124	岐阜県	中濃	1.14	香川県	高松	1.38	岐阜県	西濃	1.55
125	京都府	南丹	1.14	群馬県	藤岡	1.38	徳島県	東部 I	1.55
126	群馬県	渋川	1.14	兵庫県	北播磨	1.38	長崎県	県南	1.55
127	茨城県	常陸太田・ひたちなか	1.14	石川県	南加賀	1.38	福島県	県中	1.55
128	鹿児島県	鹿児島	1.14	青森県	上十三地域	1.37	北海道	根室	1.54
129	香川県	高松	1.14	岐阜県	東濃	1.37	新潟県	新潟	1.54
130	福島県	県中	1.14	富山県	富山	1.37	青森県	上十三地域	1.53
131	岐阜県	西濃	1.14	山口県	周南	1.37	沖縄県	北部	1.53
132	新潟県	新潟	1.14	秋田県	秋田周辺	1.36	兵庫県	北播磨	1.52
133	群馬県	藤岡	1.14	徳島県	東部 I	1.36	石川県	南加賀	1.52
134	富山県	富山	1.14	福岡県	北九州	1.36	北海道	北網	1.51
135	兵庫県	北播磨	1.14	新潟県	新潟	1.36	秋田県	秋田周辺	1.51
136	奈良県	東和	1.14	奈良県	東和	1.36	岐阜県	東濃	1.50
137	宮崎県	日向入郷	1.14	滋賀県	東近江	1.36	富山県	富山	1.50
138	山口県	周南	1.14	滋賀県	湖東	1.36	長崎県	県北	1.49
139	和歌山県	和歌山	1.14	青森県	青森地域	1.35	奈良県	東和	1.48
140	岩手県	久慈	1.14	沖縄県	北部	1.35	青森県	青森地域	1.48
141	北海道	西胆振	1.14	鹿児島県	鹿児島	1.34	山口県	山口・防府	1.48
142	広島県	広島中央	1.13	長崎県	県南	1.34	茨城県	筑西・下妻	1.48
143	滋賀県	東近江	1.13	山口県	山口・防府	1.33	北海道	釧路	1.47
144	滋賀県	湖東	1.13	福岡県	京築	1.33	福井県	福井・坂井	1.47
145	長崎県	県南	1.13	福島県	県中	1.32	長崎県	長崎	1.47
146	沖縄県	北部	1.13	和歌山県	和歌山	1.32	福岡県	北九州	1.46
147	石川県	南加賀	1.13	北海道	西胆振	1.32	福岡県	京築	1.44
148	山口県	山口・防府	1.13	福井県	福井・坂井	1.32	山梨県	富士・東部	1.44
149	福井県	福井・坂井	1.13	長崎県	長崎	1.32	山口県	周南	1.43
150	長崎県	長崎	1.13	富山県	高岡	1.32	栃木県	両毛	1.43
151	山梨県	富士・東部	1.13	長野県	諏訪	1.31	青森県	下北地域	1.43
152	福岡県	京築	1.13	栃木県	両毛	1.31	宮崎県	日向入郷	1.42
153	長野県	諏訪	1.13	兵庫県	西播磨	1.31	静岡県	熱海伊東	1.41
154	青森県	下北地域	1.13	山梨県	富士・東部	1.30	富山県	高岡	1.41
155	和歌山県	橋本	1.13	青森県	下北地域	1.30	兵庫県	西播磨	1.41
156	三重県	南勢志摩	1.13	和歌山県	橋本	1.30	和歌山県	橋本	1.41
157	青森県	津軽地域	1.13	長崎県	県北	1.30	長野県	長野	1.41
158	岩手県	岩手中部	1.13	長野県	長野	1.30	滋賀県	湖西	1.41
159	山口県	岩国	1.13	群馬県	桐生	1.30	山梨県	峡東	1.41
160	宮城県	石巻	1.13	宮崎県	日向入郷	1.29	香川県	中讃	1.41
161	北海道	富良野	1.13	長野県	松本	1.29	宮城県	仙南	1.41
162	青森県	西北五地域	1.13	山口県	宇部・小野田	1.29	福岡県	朝倉	1.41
163	宮城県	気仙沼	1.13	茨城県	筑西・下妻	1.29	長野県	松本	1.40
164	長崎県	県北	1.12	滋賀県	湖西	1.28	福島県	いわき	1.40
165	長野県	松本	1.12	島根県	松江	1.28	滋賀県	湖北	1.40
166	宮城県	仙南	1.12	福島県	いわき	1.28	福井県	丹南	1.40
167	長野県	長野	1.12	北海道	南渡島	1.28	山口県	宇部・小野田	1.39
168	栃木県	両毛	1.12	山梨県	峡東	1.28	島根県	松江	1.39
169	滋賀県	湖西	1.12	三重県	南勢志摩	1.27	長野県	諏訪	1.38
170	富山県	高岡	1.12	青森県	津軽地域	1.27	愛媛県	宇摩	1.38
171	兵庫県	西播磨	1.12	山口県	岩国	1.27	群馬県	富岡	1.38

表19-④ 二次医療圏別の精神疾患を副傷病名とする虚血性心疾患の増減比率予想

順位	都道府県名	二次医療圏名	2015年	都道府県名	二次医療圏名	2025年	都道府県名	二次医療圏名	2035年
172	島根県	松江	1.12	富山県	新川	1.27	宮崎県	都城北諸県	1.38
173	福島県	いわき	1.12	滋賀県	湖北	1.27	長野県	佐久	1.38
174	福岡県	八女・筑後	1.12	香川県	中讃	1.27	和歌山県	和歌山	1.37
175	宮崎県	都城北諸県	1.12	宮城県	石巻	1.26	福岡県	八女・筑後	1.37
176	山口県	宇部・小野田	1.12	宮城県	仙南	1.26	三重県	南勢志摩	1.36
177	愛媛県	新居浜・西条	1.12	福岡県	八女・筑後	1.26	青森県	津軽地域	1.36
178	富山県	新川	1.12	愛媛県	新居浜・西条	1.26	愛媛県	新居浜・西条	1.36
179	群馬県	桐生	1.12	岐阜県	飛騨	1.26	群馬県	桐生	1.35
180	北海道	南渡島	1.12	山口県	下関	1.26	富山県	新川	1.35
181	岐阜県	飛騨	1.12	福岡県	朝倉	1.26	高知県	中央	1.35
182	香川県	大川	1.12	福井県	丹南	1.26	長野県	上伊那	1.35
183	山口県	下関	1.12	愛媛県	宇摩	1.26	新潟県	中越	1.35
184	岩手県	胆江	1.12	岩手県	久慈	1.25	長崎県	佐世保	1.35
185	宮崎県	宮崎県北部	1.12	岩手県	岩手中部	1.25	宮崎県	西都児湯	1.35
186	北海道	南空知	1.12	北海道	富良野	1.25	福岡県	飯塚	1.35
187	岩手県	気仙	1.12	香川県	大川	1.25	北海道	南渡島	1.34
188	茨城県	筑西・下妻	1.11	群馬県	富岡	1.25	岩手県	久慈	1.34
189	滋賀県	湖北	1.11	高知県	中央	1.25	長野県	上小	1.34
190	香川県	中讃	1.11	長野県	上小	1.25	千葉県	香取海匝	1.34
191	山梨県	峡東	1.11	長野県	上伊那	1.25	富山県	砺波	1.34
192	福岡県	朝倉	1.11	宮崎県	都城北諸県	1.24	島根県	出雲	1.34
193	福井県	丹南	1.11	北海道	南空知	1.24	山形県	村山	1.34
194	群馬県	富岡	1.11	新潟県	中越	1.24	福島県	相双	1.34
195	愛媛県	宇摩	1.11	長崎県	佐世保	1.24	北海道	西胆振	1.33
196	高知県	中央	1.11	宮崎県	西都児湯	1.24	岩手県	岩手中部	1.33
197	長野県	上小	1.11	福岡県	直方・鞍手	1.24	熊本県	宇城	1.33
198	島根県	出雲	1.11	福岡県	飯塚	1.24	山口県	岩国	1.32
199	新潟県	中越	1.11	千葉県	香取海匝	1.24	宮城県	石巻	1.32
200	山形県	村山	1.11	愛媛県	今治	1.24	香川県	大川	1.32
201	長崎県	佐世保	1.11	千葉県	安房	1.24	福井県	嶺南	1.32
202	宮崎県	西都児湯	1.11	青森県	西北五地域	1.23	熊本県	上益城	1.32
203	熊本県	阿蘇	1.11	宮城県	気仙沼	1.23	鹿児島県	姶良・伊佐	1.32
204	福井県	嶺南	1.11	静岡県	賀茂	1.23	福岡県	直方・鞍手	1.31
205	宮城県	大崎	1.11	長野県	佐久	1.23	岐阜県	飛騨	1.30
206	福岡県	直方・鞍手	1.11	富山県	砺波	1.23	千葉県	安房	1.30
207	徳島県	南部 I	1.11	岩手県	気仙	1.22	宮城県	大崎	1.30
208	北海道	日高	1.11	島根県	出雲	1.22	山口県	下関	1.29
209	秋田県	由利本荘・にかほ	1.11	山形県	村山	1.22	北海道	富良野	1.29
210	熊本県	八代	1.11	徳島県	南部 I	1.22	青森県	西北五地域	1.29
211	沖縄県	宮古	1.11	北海道	日高	1.22	徳島県	南部 I	1.29
212	静岡県	賀茂	1.11	熊本県	宇城	1.22	埼玉県	秩父	1.29
213	北海道	中空知	1.11	埼玉県	秩父	1.22	長野県	大北	1.29
214	北海道	留萌	1.11	和歌山県	田辺	1.22	熊本県	阿蘇	1.29
215	北海道	北空知	1.11	広島県	尾三	1.22	群馬県	吾妻	1.29
216	岩手県	宮古	1.11	宮崎県	宮崎県北部	1.21	愛媛県	今治	1.28
217	秋田県	大館・鹿角	1.11	福井県	嶺南	1.21	和歌山県	田辺	1.28
218	長野県	佐久	1.10	北海道	中空知	1.21	石川県	能登中部	1.28
219	長野県	上伊那	1.10	熊本県	上益城	1.21	群馬県	沼田	1.28
220	富山県	砺波	1.10	長野県	大北	1.21	北海道	日高	1.27
221	福岡県	飯塚	1.10	広島県	呉	1.21	広島県	尾三	1.27
222	熊本県	宇城	1.10	石川県	能登中部	1.21	宮崎県	宮崎県北部	1.27
223	熊本県	上益城	1.10	岩手県	胆江	1.20	和歌山県	有田	1.27
224	福島県	相双	1.10	熊本県	阿蘇	1.20	北海道	南空知	1.26
225	千葉県	香取海匝	1.10	熊本県	八代	1.20	兵庫県	丹波	1.26
226	長野県	大北	1.10	沖縄県	宮古	1.20	徳島県	東部 II	1.26
227	埼玉県	秩父	1.10	北海道	留萌	1.20	岩手県	胆江	1.25
228	和歌山県	田辺	1.10	福島県	相双	1.20	沖縄県	宮古	1.25

表19-⑤ 二次医療圏別の精神疾患を副傷病名とする虚血性心疾患の増減比率予想

順位	都道府県名	二次医療圏名	2015年	都道府県名	二次医療圏名	2025年	都道府県名	二次医療圏名	2035年
229	群馬県	吾妻	1.10	群馬県	吾妻	1.20	京都府	中丹	1.25
230	広島県	尾三	1.10	和歌山県	有田	1.20	秋田県	由利本荘・にかほ	1.25
231	愛媛県	今治	1.10	京都府	中丹	1.20	新潟県	魚沼	1.25
232	和歌山県	有田	1.10	北海道	北空知	1.19	宮城県	気仙沼	1.24
233	熊本県	鹿本	1.10	鹿児島県	姶良・伊佐	1.19	熊本県	八代	1.24
234	宮城県	西諸	1.10	宮城県	大崎	1.18	熊本県	有明	1.24
235	広島県	呉	1.10	秋田県	由利本荘・にかほ	1.18	熊本県	鹿本	1.24
236	鹿児島県	熊毛	1.10	岩手県	宮古	1.18	新潟県	下越	1.24
237	宮城県	日南串間	1.10	北海道	遠紋	1.18	愛知県	東三河北部	1.24
238	北海道	遠紋	1.10	北海道	上川北部	1.18	香川県	三豊	1.24
239	北海道	上川北部	1.10	群馬県	沼田	1.18	静岡県	賀茂	1.23
240	秋田県	能代・山本	1.10	熊本県	有明	1.18	福岡県	田川	1.23
241	鹿児島県	曾於	1.10	北海道	宗谷	1.18	新潟県	上越	1.23
242	北海道	南檜山	1.10	北海道	後志	1.18	岩手県	気仙	1.22
243	岩手県	二戸	1.10	福岡県	田川	1.18	兵庫県	淡路	1.22
244	岩手県	釜石	1.10	熊本県	鹿本	1.17	兵庫県	但馬	1.21
245	鹿児島県	姶良・伊佐	1.09	新潟県	下越	1.17	北海道	宗谷	1.20
246	千葉県	安房	1.09	新潟県	上越	1.17	宮城県	西諸	1.20
247	石川県	能登中部	1.09	兵庫県	丹波	1.17	和歌山県	御坊	1.20
248	群馬県	沼田	1.09	愛知県	東三河北部	1.17	北海道	中空知	1.19
249	京都府	中丹	1.09	東京都	島しょ	1.17	広島県	呉	1.19
250	徳島県	東部Ⅱ	1.09	北海道	南檜山	1.16	北海道	留萌	1.19
251	新潟県	魚沼	1.09	徳島県	東部Ⅱ	1.16	鹿児島県	熊毛	1.19
252	熊本県	有明	1.09	新潟県	魚沼	1.16	山形県	庄内	1.19
253	新潟県	下越	1.09	兵庫県	但馬	1.16	長野県	飯伊	1.19
254	新潟県	上越	1.09	香川県	三豊	1.16	鹿児島県	奄美	1.19
255	兵庫県	但馬	1.09	兵庫県	淡路	1.16	東京都	島しょ	1.18
256	鹿児島県	出水	1.09	秋田県	大館・鹿角	1.15	福井県	奥越	1.18
257	山形県	庄内	1.09	宮城県	西諸	1.15	鹿児島県	出水	1.18
258	岩手県	両磐	1.09	宮城県	日南串間	1.15	岩手県	両磐	1.18
259	鹿児島県	肝属	1.09	三重県	東紀州	1.15	北海道	遠紋	1.17
260	福井県	奥越	1.09	和歌山県	御坊	1.15	北海道	後志	1.17
261	熊本県	球磨	1.09	京都府	丹後	1.15	宮城県	日南串間	1.17
262	北海道	宗谷	1.09	鹿児島県	熊毛	1.14	京都府	丹後	1.17
263	北海道	後志	1.09	秋田県	能代・山本	1.14	熊本県	球磨	1.17
264	三重県	東紀州	1.09	山形県	庄内	1.14	鹿児島県	肝属	1.17
265	北海道	北渡島檜山	1.09	福井県	奥越	1.14	岩手県	宮古	1.16
266	秋田県	大仙・仙北	1.09	長野県	飯伊	1.14	北海道	上川北部	1.16
267	長崎県	対馬	1.09	岩手県	釜石	1.13	高知県	幡多	1.16
268	秋田県	北秋田	1.09	鹿児島県	出水	1.13	福島県	会津	1.16
269	兵庫県	丹波	1.08	岩手県	両磐	1.13	山形県	置賜	1.16
270	愛知県	東三河北部	1.08	熊本県	球磨	1.13	北海道	北空知	1.15
271	香川県	三豊	1.08	北海道	北渡島檜山	1.13	長野県	北信	1.15
272	福岡県	田川	1.08	和歌山県	新宮	1.13	秋田県	能代・山本	1.14
273	兵庫県	淡路	1.08	岩手県	二戸	1.12	岡山県	津山・英田	1.14
274	長野県	飯伊	1.08	鹿児島県	肝属	1.12	山形県	最上	1.14
275	和歌山県	御坊	1.08	高知県	幡多	1.12	北海道	南檜山	1.13
276	京都府	丹後	1.08	福島県	会津	1.11	秋田県	大館・鹿角	1.13
277	福島県	会津	1.08	長野県	北信	1.11	三重県	東紀州	1.13
278	東京都	島しょ	1.08	山口県	長門	1.11	北海道	北渡島檜山	1.13
279	高知県	幡多	1.08	鹿児島県	曾於	1.10	秋田県	横手	1.13
280	山形県	最上	1.08	秋田県	大仙・仙北	1.10	山口県	長門	1.12
281	秋田県	横手	1.08	長崎県	対馬	1.10	鹿児島県	曾於	1.12
282	和歌山県	新宮	1.08	秋田県	北秋田	1.10	長崎県	対馬	1.12
283	宮城県	栗原	1.08	秋田県	横手	1.10	愛媛県	宇和島	1.12
284	徳島県	南部Ⅱ	1.08	山形県	置賜	1.10	香川県	小豆	1.12
285	山形県	置賜	1.07	岡山県	津山・英田	1.10	鹿児島県	川薩	1.12

表19-⑥ 二次医療圏別の精神疾患を副傷病名とする虚血性心疾患の増減比率予想

順位	都道府県名	二次医療圏名	2015年	都道府県名	二次医療圏名	2025年	都道府県名	二次医療圏名	2035年
286	岡山県	津山・英田	1.07	愛媛県	宇和島	1.10	和歌山県	新宮	1.11
287	長野県	北信	1.07	山形県	最上	1.09	岩手県	二戸	1.11
288	山口県	長門	1.07	徳島県	南部Ⅱ	1.09	秋田県	大仙・仙北	1.11
289	愛媛県	宇和島	1.07	熊本県	芦北	1.09	広島県	備北	1.10
290	愛媛県	八幡浜・大洲	1.07	奈良県	南和	1.09	熊本県	芦北	1.09
291	熊本県	芦北	1.07	山口県	柳井	1.09	奈良県	南和	1.09
292	奈良県	南和	1.07	愛媛県	八幡浜・大洲	1.08	愛媛県	八幡浜・大洲	1.09
293	長崎県	五島	1.07	高知県	高幡	1.08	長崎県	五島	1.09
294	高知県	高幡	1.07	島根県	益田	1.08	宮城県	登米	1.09
295	島根県	益田	1.07	山口県	萩	1.08	山口県	柳井	1.08
296	島根県	雲南	1.07	鹿児島県	奄美	1.08	高知県	高幡	1.08
297	秋田県	湯沢・雄勝	1.07	香川県	小豆	1.08	島根県	益田	1.08
298	熊本県	天草	1.07	長崎県	五島	1.07	秋田県	湯沢・雄勝	1.08
299	福島県	南会津	1.07	広島県	備北	1.07	島根県	隠岐	1.08
300	大分県	豊肥	1.07	秋田県	湯沢・雄勝	1.06	山梨県	峡南	1.08
301	山口県	萩	1.07	熊本県	天草	1.06	宮城県	栗原	1.08
302	長崎県	上五島	1.07	島根県	隠岐	1.06	秋田県	北秋田	1.07
303	鹿児島県	奄美	1.06	高知県	安芸	1.06	岡山県	真庭	1.07
304	広島県	備北	1.06	鹿児島県	川薩	1.06	徳島県	南部Ⅱ	1.06
305	香川県	小豆	1.06	山梨県	峡南	1.06	熊本県	天草	1.06
306	山口県	柳井	1.06	宮城県	栗原	1.05	島根県	雲南	1.06
307	岡山県	真庭	1.06	島根県	雲南	1.05	岩手県	釜石	1.04
308	島根県	隠岐	1.06	福島県	南会津	1.05	山口県	萩	1.04
309	島根県	浜田	1.06	大分県	豊肥	1.05	福島県	南会津	1.04
310	徳島県	西部Ⅰ	1.06	長崎県	上五島	1.05	島根県	浜田	1.04
311	高知県	安芸	1.06	岡山県	真庭	1.05	鹿児島県	南薩	1.04
312	徳島県	西部Ⅱ	1.06	島根県	浜田	1.05	大分県	豊肥	1.03
313	長野県	木曾	1.06	長野県	木曾	1.04	高知県	安芸	1.02
314	石川県	能登北部	1.06	石川県	能登北部	1.03	長崎県	上五島	1.02
315	鹿児島県	川薩	1.05	宮城県	登米	1.03	長崎県	杵岐	1.02
316	山梨県	峡南	1.05	鹿児島県	南薩	1.03	徳島県	西部Ⅰ	1.01
317	宮城県	登米	1.05	長崎県	杵岐	1.03	長野県	木曾	0.99
318	鹿児島県	南薩	1.05	徳島県	西部Ⅰ	1.01	徳島県	西部Ⅱ	0.99
319	長崎県	杵岐	1.05	岡山県	高梁・新見	1.00	石川県	能登北部	0.96
320	岡山県	高梁・新見	1.05	徳島県	西部Ⅱ	0.99	岡山県	高梁・新見	0.95
321	新潟県	佐渡	1.04	新潟県	佐渡	0.97	島根県	大田	0.95
322	島根県	大田	1.03	島根県	大田	0.97	新潟県	佐渡	0.90

表20-① 二次医療圏別の精神疾患を副傷病名とする脳血管疾患の増減比率予想

順位	都道府県名	二次医療圏名	2015年	都道府県名	二次医療圏名	2025年	都道府県名	二次医療圏名	2035年
1	神奈川県	相模原	1.29	埼玉県	南西部	1.98	神奈川県	相模原	2.48
2	埼玉県	南西部	1.29	神奈川県	相模原	1.96	愛知県	西三河北部	2.44
3	千葉県	千葉	1.29	千葉県	千葉	1.95	埼玉県	南西部	2.43
4	千葉県	東葛南部	1.28	千葉県	東葛南部	1.91	千葉県	千葉	2.41
5	千葉県	東葛北部	1.27	千葉県	東葛北部	1.88	千葉県	東葛南部	2.38
6	東京都	南多摩	1.27	愛知県	西三河北部	1.86	千葉県	印旛	2.33
7	愛知県	西三河北部	1.26	東京都	南多摩	1.85	千葉県	東葛北部	2.30
8	東京都	北多摩北部	1.26	千葉県	印旛	1.82	東京都	南多摩	2.26
9	埼玉県	さいたま	1.25	埼玉県	さいたま	1.80	埼玉県	さいたま	2.23
10	愛知県	尾張東部	1.25	愛知県	尾張東部	1.80	愛知県	尾張東部	2.23
11	神奈川県	湘南東部	1.25	大阪府	三島	1.80	福岡県	筑紫	2.23
12	神奈川県	横浜北部、西部、南部	1.25	大阪府	北河内	1.80	千葉県	市原	2.22
13	愛知県	尾張北部	1.25	千葉県	市原	1.79	滋賀県	湖南	2.22
14	大阪府	三島	1.25	埼玉県	川越比企	1.79	埼玉県	川越比企	2.20
15	東京都	北多摩西部	1.25	愛知県	尾張北部	1.78	京都府	山城南	2.20
16	大阪府	北河内	1.25	神奈川県	湘南東部	1.77	神奈川県	湘南西部	2.16
17	千葉県	印旛	1.24	神奈川県	湘南西部	1.77	神奈川県	川崎北部、川崎南部	2.16
18	千葉県	市原	1.24	神奈川県	横浜北部、西部、南部	1.76	神奈川県	湘南東部	2.15
19	埼玉県	川越比企	1.24	愛知県	海部津島	1.76	神奈川県	横浜北部、西部、南部	2.14
20	神奈川県	川崎北部、川崎南部	1.24	東京都	北多摩西部	1.74	大阪府	三島	2.12
21	神奈川県	湘南西部	1.24	神奈川県	川崎北部、川崎南部	1.74	愛知県	尾張北部	2.12
22	兵庫県	阪神北	1.24	大阪府	堺市	1.74	埼玉県	県央	2.11
23	大阪府	豊能	1.24	埼玉県	県央	1.74	兵庫県	阪神北	2.09
24	大阪府	堺市	1.24	福岡県	筑紫	1.73	北海道	札幌	2.09
25	愛知県	海部津島	1.24	京都府	山城北	1.73	茨城県	取手・竜ヶ崎	2.09
26	福岡県	筑紫	1.23	兵庫県	阪神北	1.72	京都府	山城北	2.08
27	滋賀県	湖南	1.23	大阪府	豊能	1.72	滋賀県	大津	2.08
28	埼玉県	県央	1.23	滋賀県	湖南	1.72	福岡県	福岡・糸島	2.08
29	北海道	札幌	1.23	愛知県	尾張中部	1.72	福岡県	粕屋	2.08
30	京都府	山城北	1.23	東京都	北多摩北部	1.71	大阪府	北河内	2.07
31	東京都	北多摩南部	1.23	大阪府	南河内	1.69	東京都	北多摩西部	2.07
32	愛知県	尾張中部	1.23	京都府	山城南	1.69	愛知県	西三河南部	2.07
33	東京都	区西北部	1.23	北海道	札幌	1.68	埼玉県	利根	2.02
34	大阪府	南河内	1.23	茨城県	取手・竜ヶ崎	1.68	大阪府	堺市	2.01
35	京都府	山城南	1.22	東京都	区西北部	1.67	大阪府	豊能	2.01
36	愛知県	西三河南部	1.22	佐賀県	東部	1.67	東京都	北多摩北部	2.01
37	滋賀県	大津	1.22	埼玉県	利根	1.67	東京都	北多摩南部	2.00
38	宮城県	仙台	1.22	東京都	北多摩南部	1.66	愛知県	尾張中部	1.99
39	佐賀県	東部	1.22	愛知県	西三河南部	1.66	愛知県	海部津島	1.98
40	愛知県	知多半島	1.22	愛知県	海部	1.66	佐賀県	東部	1.98
41	大阪府	泉州	1.22	大阪府	中河内	1.66	東京都	区西北部	1.97
42	愛知県	海部	1.22	滋賀県	大津	1.64	宮城県	仙台	1.97
43	兵庫県	神戸	1.22	愛知県	知多半島	1.64	大阪府	南河内	1.96
44	大阪府	中河内	1.22	大阪府	泉州	1.64	愛知県	知多半島	1.95
45	茨城県	取手・竜ヶ崎	1.21	福岡県	福岡・糸島	1.64	奈良県	西和	1.92
46	福岡県	福岡・糸島	1.21	愛知県	尾張西部	1.64	兵庫県	東播磨	1.92
47	埼玉県	利根	1.21	奈良県	西和	1.63	茨城県	つくば	1.92
48	兵庫県	東播磨	1.21	福岡県	粕屋	1.63	愛知県	海部	1.91
49	奈良県	西和	1.21	兵庫県	東播磨	1.62	大阪府	泉州	1.91
50	奈良県	奈良	1.21	奈良県	奈良	1.62	奈良県	奈良	1.91
51	愛知県	尾張西部	1.21	宮城県	仙台	1.61	栃木県	県東・央	1.90
52	兵庫県	阪神南	1.21	兵庫県	神戸	1.61	愛知県	尾張西部	1.89
53	福岡県	粕屋	1.20	東京都	区東部	1.60	兵庫県	神戸	1.89
54	沖縄県	南部	1.20	兵庫県	阪神南	1.59	沖縄県	南部	1.89
55	千葉県	君津	1.20	沖縄県	南部	1.59	千葉県	君津	1.88
56	佐賀県	西部	1.20	千葉県	君津	1.59	東京都	西多摩	1.88
57	宮城県	宮崎東諸県	1.20	東京都	西多摩	1.59	佐賀県	西部	1.88

表20-② 二次医療圏別の精神疾患を副傷病名とする脳血管疾患の増減比率予想

順位	都道府県名	二次医療圏名	2015年	都道府県名	二次医療圏名	2025年	都道府県名	二次医療圏名	2035年
58	東京都	区東部	1.20	佐賀県	西部	1.58	兵庫県	阪神南	1.87
59	北海道	東胆振	1.20	愛知県	名古屋	1.58	滋賀県	甲賀	1.87
60	愛知県	名古屋	1.20	奈良県	中和	1.57	奈良県	中和	1.86
61	北海道	十勝	1.20	愛知県	東三河南部	1.56	愛知県	東三河南部	1.86
62	栃木県	県東・央	1.19	北海道	東胆振	1.55	福岡県	宗像	1.86
63	東京都	西多摩	1.19	広島県	広島	1.54	大阪府	中河内	1.85
64	奈良県	中和	1.19	宮崎県	宮崎東諸県	1.53	東京都	区東部	1.85
65	福岡県	宗像	1.19	栃木県	県東・央	1.53	広島県	広島	1.85
66	愛知県	東三河南部	1.19	福岡県	宗像	1.53	宮崎県	宮崎東諸県	1.85
67	東京都	区西南部	1.19	静岡県	富士	1.53	愛知県	名古屋	1.83
68	広島県	広島西	1.19	大阪府	大阪市	1.53	群馬県	伊勢崎	1.83
69	静岡県	富士	1.19	東京都	区西南部	1.52	北海道	東胆振	1.82
70	三重県	北勢	1.19	静岡県	駿東田方	1.52	東京都	区西南部	1.82
71	静岡県	駿東田方	1.19	神奈川県	横須賀・三浦	1.52	広島県	広島西	1.82
72	岩手県	盛岡	1.19	茨城県	つくば	1.52	石川県	石川中央	1.81
73	青森県	八戸地域	1.19	広島県	広島西	1.51	沖縄県	八重山	1.81
74	北海道	上川中部	1.19	三重県	北勢	1.51	静岡県	中東遠	1.79
75	大阪府	大阪市	1.19	東京都	区東北部	1.51	静岡県	富士	1.78
76	神奈川県	横須賀・三浦	1.19	北海道	十勝	1.50	三重県	北勢	1.78
77	東京都	区東北部	1.19	滋賀県	甲賀	1.50	茨城県	鹿行	1.78
78	茨城県	つくば	1.18	東京都	区南部	1.50	茨城県	土浦	1.77
79	滋賀県	甲賀	1.18	岐阜県	岐阜	1.50	静岡県	駿東田方	1.75
80	広島県	広島	1.18	北海道	上川中部	1.49	東京都	区西部	1.75
81	群馬県	伊勢崎	1.18	群馬県	伊勢崎	1.49	茨城県	古河・坂東	1.75
82	静岡県	中東遠	1.18	茨城県	土浦	1.49	群馬県	太田・館林	1.75
83	茨城県	土浦	1.18	東京都	区西部	1.49	茨城県	水戸	1.74
84	東京都	区西部	1.18	石川県	石川中央	1.49	東京都	区中央部	1.73
85	東京都	区南部	1.18	静岡県	静岡	1.48	北海道	十勝	1.72
86	群馬県	前橋	1.18	兵庫県	中播磨	1.48	東京都	区南部	1.72
87	岐阜県	岐阜	1.18	京都府	京都・乙訓	1.48	群馬県	前橋	1.72
88	静岡県	志太榛原	1.18	岩手県	盛岡	1.47	岐阜県	岐阜	1.71
89	静岡県	静岡	1.18	青森県	八戸地域	1.47	岩手県	盛岡	1.70
90	三重県	中勢伊賀	1.18	静岡県	中東遠	1.47	沖縄県	中部	1.70
91	青森県	上十三地域	1.18	群馬県	前橋	1.47	熊本県	熊本	1.70
92	北海道	北網	1.18	茨城県	鹿行	1.47	千葉県	山武長生夷隅	1.70
93	秋田県	秋田周辺	1.18	静岡県	志太榛原	1.46	和歌山県	那賀	1.70
94	沖縄県	八重山	1.17	茨城県	水戸	1.46	大阪府	大阪市	1.69
95	石川県	石川中央	1.17	広島県	福山・府中	1.46	青森県	八戸地域	1.69
96	茨城県	鹿行	1.17	茨城県	古河・坂東	1.46	広島県	福山・府中	1.69
97	茨城県	水戸	1.17	茨城県	日立	1.46	群馬県	高崎・安中	1.69
98	沖縄県	中部	1.17	群馬県	太田・館林	1.46	熊本県	菊池	1.69
99	熊本県	熊本	1.17	神奈川県	県西	1.45	神奈川県	横須賀・三浦	1.68
100	広島県	福山・府中	1.17	東京都	区中央部	1.45	北海道	上川中部	1.68
101	愛媛県	松山	1.17	沖縄県	八重山	1.44	兵庫県	中播磨	1.68
102	兵庫県	中播磨	1.17	沖縄県	中部	1.44	京都府	京都・乙訓	1.68
103	福岡県	久留米	1.17	熊本県	熊本	1.44	静岡県	志太榛原	1.68
104	岐阜県	中濃	1.17	福岡県	久留米	1.44	愛媛県	松山	1.68
105	京都府	京都・乙訓	1.17	岡山県	県南東部	1.44	福岡県	久留米	1.67
106	岡山県	県南東部	1.17	岡山県	県南西部	1.44	岡山県	県南東部	1.67
107	神奈川県	県西	1.17	千葉県	山武長生夷隅	1.44	岐阜県	中濃	1.67
108	岡山県	県南西部	1.17	群馬県	高崎・安中	1.44	静岡県	静岡	1.66
109	徳島県	東部I	1.17	三重県	中勢伊賀	1.43	京都府	南丹	1.66
110	北海道	根室	1.17	北海道	北網	1.43	広島県	広島中央	1.66
111	岐阜県	東濃	1.17	愛媛県	松山	1.43	滋賀県	東近江	1.66
112	青森県	青森地域	1.17	北海道	根室	1.43	神奈川県	県西	1.65
113	北海道	釧路	1.17	静岡県	熱海伊東	1.43	茨城県	常陸太田・ひたちなか	1.65
114	静岡県	熱海伊東	1.17	和歌山県	那賀	1.43	群馬県	渋川	1.65

表20-③ 二次医療圏別の精神疾患を副傷病名とする脳血管疾患の増減比率予想

順位	都道府県名	二次医療圏名	2015年	都道府県名	二次医療圏名	2025年	都道府県名	二次医療圏名	2035年
115	茨城県	古河・坂東	1.16	青森県	上十三地域	1.42	東京都	区東北部	1.64
116	東京都	区中央部	1.16	岐阜県	中濃	1.42	茨城県	日立	1.64
117	和歌山県	那賀	1.16	北海道	釧路	1.42	岡山県	県南西部	1.64
118	熊本県	菊池	1.16	京都府	南丹	1.42	山梨県	中北	1.64
119	千葉県	山武長生夷隅	1.16	茨城県	常陸太田・ひたちなか	1.42	香川県	高松	1.64
120	群馬県	高崎・安中	1.16	岐阜県	西濃	1.42	三重県	中勢伊賀	1.63
121	京都府	南丹	1.16	岐阜県	東濃	1.41	岐阜県	西濃	1.63
122	茨城県	常陸太田・ひたちなか	1.16	熊本県	菊池	1.41	群馬県	藤岡	1.63
123	群馬県	渋川	1.16	群馬県	渋川	1.41	滋賀県	湖東	1.63
124	茨城県	日立	1.16	山梨県	中北	1.41	青森県	上十三地域	1.61
125	香川県	高松	1.16	秋田県	秋田周辺	1.40	徳島県	東部Ⅰ	1.61
126	群馬県	藤岡	1.16	香川県	高松	1.40	北海道	根室	1.60
127	岐阜県	西濃	1.16	群馬県	藤岡	1.40	新潟県	新潟	1.60
128	福島県	県中	1.16	新潟県	新潟	1.40	兵庫県	北播磨	1.60
129	新潟県	新潟	1.16	福岡県	北九州	1.40	鹿児島県	鹿児島	1.60
130	富山県	富山	1.16	兵庫県	北播磨	1.40	長崎県	県南	1.60
131	福岡県	北九州	1.16	広島県	広島中央	1.40	北海道	北網	1.59
132	宮城県	日向入郷	1.16	徳島県	東部Ⅰ	1.39	岐阜県	東濃	1.59
133	岩手県	久慈	1.16	青森県	青森地域	1.39	石川県	南加賀	1.59
134	群馬県	太田・館林	1.15	富山県	富山	1.39	福島県	県中	1.59
135	滋賀県	東近江	1.15	滋賀県	東近江	1.39	秋田県	秋田周辺	1.58
136	山梨県	中北	1.15	石川県	南加賀	1.39	富山県	富山	1.58
137	滋賀県	湖東	1.15	奈良県	東和	1.39	沖縄県	北部	1.58
138	鹿児島県	鹿児島	1.15	滋賀県	湖東	1.38	奈良県	東和	1.56
139	長崎県	県南	1.15	山口県	周南	1.38	青森県	青森地域	1.55
140	兵庫県	北播磨	1.15	鹿児島県	鹿児島	1.37	山口県	山口・防府	1.55
141	石川県	南加賀	1.15	沖縄県	北部	1.37	北海道	釧路	1.54
142	長崎県	県北	1.15	福島県	県中	1.36	福岡県	北九州	1.54
143	奈良県	東和	1.15	長崎県	県南	1.36	長崎県	県北	1.54
144	福井県	福井・坂井	1.15	北海道	西胆振	1.36	長崎県	長崎	1.53
145	長崎県	長崎	1.15	山口県	山口・防府	1.36	福井県	福井・坂井	1.53
146	山口県	周南	1.15	長崎県	長崎	1.35	茨城県	筑西・下妻	1.53
147	長野県	諏訪	1.15	和歌山県	和歌山	1.35	静岡県	熱海伊東	1.52
148	和歌山県	和歌山	1.15	福岡県	京築	1.35	山口県	周南	1.51
149	三重県	南勢志摩	1.15	宮城県	日向入郷	1.34	福岡県	京築	1.51
150	青森県	津軽地域	1.15	福井県	福井・坂井	1.34	栃木県	両毛	1.50
151	北海道	西胆振	1.15	長野県	諏訪	1.34	富山県	高岡	1.49
152	岩手県	岩手中部	1.15	青森県	下北地域	1.34	山梨県	富士・東部	1.49
153	宮城県	石巻	1.15	富山県	高岡	1.34	宮城県	日向入郷	1.48
154	青森県	西北五地域	1.15	長崎県	県北	1.33	青森県	下北地域	1.48
155	宮城県	宮城県北部	1.15	山梨県	富士・東部	1.33	兵庫県	西播磨	1.48
156	宮城県	気仙沼	1.15	和歌山県	橋本	1.33	滋賀県	湖西	1.48
157	岩手県	気仙	1.15	長野県	長野	1.33	香川県	中讃	1.48
158	広島県	広島中央	1.14	栃木県	両毛	1.33	和歌山県	橋本	1.47
159	沖縄県	北部	1.14	兵庫県	西播磨	1.33	長野県	長野	1.47
160	山口県	山口・防府	1.14	岩手県	久慈	1.32	長野県	松本	1.47
161	福岡県	京築	1.14	三重県	南勢志摩	1.32	宮城県	仙南	1.47
162	山梨県	富士・東部	1.14	長野県	松本	1.32	福岡県	朝倉	1.47
163	青森県	下北地域	1.14	山口県	宇部・小野田	1.32	長野県	諏訪	1.46
164	富山県	高岡	1.14	群馬県	桐生	1.32	山口県	宇部・小野田	1.46
165	和歌山県	橋本	1.14	北海道	南渡島	1.32	福井県	丹南	1.46
166	長野県	長野	1.14	青森県	津軽地域	1.31	山梨県	峡東	1.46
167	滋賀県	湖西	1.14	宮城県	石巻	1.31	滋賀県	湖北	1.46
168	香川県	中讃	1.14	滋賀県	湖西	1.31	和歌山県	和歌山	1.45
169	宮城県	仙南	1.14	香川県	中讃	1.31	福島県	いわき	1.45
170	長野県	松本	1.14	福島県	いわき	1.31	島根県	松江	1.45
171	福島県	いわき	1.14	島根県	松江	1.31	群馬県	富岡	1.45

表20-④ 二次医療圏別の精神疾患を副傷病名とする脳血管疾患の増減比率予想

順位	都道府県名	二次医療圏名	2015年	都道府県名	二次医療圏名	2025年	都道府県名	二次医療圏名	2035年
172	福井県	丹南	1.14	富山県	新川	1.31	三重県	南勢志摩	1.44
173	山口県	宇部・小野田	1.14	山口県	岩国	1.31	群馬県	桐生	1.44
174	島根県	松江	1.14	岐阜県	飛騨	1.31	福岡県	八女・筑後	1.44
175	群馬県	富岡	1.14	茨城県	筑西・下妻	1.31	愛媛県	宇摩	1.44
176	宮崎県	都城北諸県	1.14	岩手県	岩手中部	1.30	青森県	津軽地域	1.43
177	福岡県	八女・筑後	1.14	宮城県	仙南	1.30	富山県	新川	1.43
178	愛媛県	新居浜・西条	1.14	福井県	丹南	1.30	愛媛県	新居浜・西条	1.43
179	群馬県	桐生	1.14	福岡県	八女・筑後	1.30	宮崎県	都城北諸県	1.43
180	富山県	新川	1.14	愛媛県	新居浜・西条	1.30	長野県	佐久	1.43
181	北海道	南渡島	1.14	山口県	下関	1.30	高知県	中央	1.42
182	山形県	村山	1.14	北海道	富良野	1.30	富山県	砺波	1.42
183	山口県	岩国	1.14	山梨県	峡東	1.30	北海道	西胆振	1.41
184	岐阜県	飛騨	1.14	青森県	西北五地域	1.29	北海道	南渡島	1.41
185	宮城県	大崎	1.14	群馬県	富岡	1.29	長野県	上伊那	1.41
186	山口県	下関	1.14	宮崎県	都城北諸県	1.29	長野県	上小	1.41
187	北海道	富良野	1.14	滋賀県	湖北	1.29	新潟県	中越	1.41
188	熊本県	阿蘇	1.14	愛媛県	宇摩	1.29	福岡県	飯塚	1.41
189	北海道	南空知	1.14	香川県	大川	1.29	岩手県	久慈	1.40
190	岩手県	胆江	1.14	福岡県	朝倉	1.29	山口県	岩国	1.40
191	秋田県	由利本荘・にかほ	1.14	宮城県	気仙沼	1.28	香川県	大川	1.40
192	茨城県	筑西・下妻	1.13	岩手県	気仙	1.28	長崎県	佐世保	1.40
193	栃木県	両毛	1.13	北海道	南空知	1.28	千葉県	香取海匝	1.40
194	兵庫県	西播磨	1.13	高知県	中央	1.28	宮崎県	西都児湯	1.40
195	滋賀県	湖北	1.13	長野県	上伊那	1.28	宮城県	石巻	1.39
196	愛媛県	宇摩	1.13	長崎県	佐世保	1.28	岐阜県	飛騨	1.39
197	高知県	中央	1.13	長野県	上小	1.28	岩手県	岩手中部	1.39
198	長野県	上伊那	1.13	千葉県	香取海匝	1.28	山形県	村山	1.39
199	新潟県	中越	1.13	宮崎県	宮崎県北部	1.27	島根県	出雲	1.39
200	長崎県	佐世保	1.13	新潟県	中越	1.27	福島県	相双	1.39
201	宮崎県	西都児湯	1.13	宮崎県	西都児湯	1.27	福岡県	直方・鞍手	1.38
202	長野県	上小	1.13	富山県	砺波	1.27	千葉県	安房	1.38
203	富山県	砺波	1.13	静岡県	賀茂	1.27	福井県	嶺南	1.38
204	島根県	出雲	1.13	福岡県	飯塚	1.27	山口県	下関	1.37
205	福島県	相双	1.13	福岡県	直方・鞍手	1.27	熊本県	宇城	1.37
206	熊本県	宇城	1.13	千葉県	安房	1.27	熊本県	上益城	1.37
207	香川県	大川	1.13	埼玉県	秩父	1.27	北海道	富良野	1.36
208	福井県	嶺南	1.13	山形県	村山	1.26	青森県	西北五地域	1.36
209	徳島県	南部 I	1.13	熊本県	阿蘇	1.26	埼玉県	秩父	1.36
210	群馬県	沼田	1.13	岩手県	胆江	1.26	熊本県	阿蘇	1.36
211	沖縄県	宮古	1.13	島根県	出雲	1.26	鹿児島県	姪良・伊佐	1.36
212	熊本県	八代	1.13	熊本県	宇城	1.26	徳島県	南部 I	1.35
213	静岡県	賀茂	1.13	徳島県	南部 I	1.26	愛媛県	今治	1.35
214	北海道	中空知	1.13	北海道	中空知	1.26	和歌山県	田辺	1.35
215	鹿児島県	熊毛	1.13	長野県	佐久	1.26	広島県	尾三	1.35
216	宮崎県	日南串間	1.13	愛媛県	今治	1.26	宮城県	大崎	1.35
217	岩手県	宮古	1.13	北海道	日高	1.26	長野県	大北	1.35
218	北海道	北空知	1.13	秋田県	由利本荘・にかほ	1.25	群馬県	吾妻	1.35
219	秋田県	能代・山本	1.13	福井県	嶺南	1.25	石川県	能登中部	1.35
220	秋田県	大館・鹿角	1.13	熊本県	八代	1.25	宮崎県	宮崎県北部	1.34
221	岩手県	二戸	1.13	北海道	北空知	1.25	群馬県	沼田	1.34
222	山梨県	峡東	1.12	熊本県	上益城	1.25	北海道	南空知	1.33
223	福岡県	朝倉	1.12	和歌山県	田辺	1.25	北海道	日高	1.33
224	長野県	佐久	1.12	広島県	尾三	1.25	和歌山県	有田	1.33
225	福岡県	飯塚	1.12	北海道	留萌	1.25	宮城県	気仙沼	1.32
226	千葉県	香取海匝	1.12	宮城県	大崎	1.24	静岡県	賀茂	1.32
227	熊本県	上益城	1.12	福島県	相双	1.24	岩手県	胆江	1.32
228	鹿児島県	姪良・伊佐	1.12	沖縄県	宮古	1.24	秋田県	由利本荘・にかほ	1.32

表20-⑤ 二次医療圏別の精神疾患を副傷病名とする脳血管疾患の増減比率予想									
順位	都道府県名	二次医療圏名	2015年	都道府県名	二次医療圏名	2025年	都道府県名	二次医療圏名	2035年
229	福岡県	直方・鞍手	1.12	岩手県	宮古	1.24	京都府	中丹	1.32
230	千葉県	安房	1.12	長野県	大北	1.24	兵庫県	丹波	1.32
231	埼玉県	秩父	1.12	群馬県	吾妻	1.24	徳島県	東部Ⅱ	1.32
232	長野県	大北	1.12	和歌山県	有田	1.24	愛知県	東三河北部	1.31
233	群馬県	吾妻	1.12	石川県	能登中部	1.24	新潟県	魚沼	1.31
234	愛媛県	今治	1.12	群馬県	沼田	1.23	岩手県	気仙	1.30
235	和歌山県	田辺	1.12	北海道	遠紋	1.23	熊本県	八代	1.30
236	北海道	日高	1.12	北海道	上川北部	1.23	沖縄県	宮古	1.30
237	広島県	尾三	1.12	京都府	中丹	1.23	香川県	三豊	1.30
238	和歌山県	有田	1.12	広島県	呉	1.23	熊本県	有明	1.29
239	徳島県	東部Ⅱ	1.12	鹿児島県	始良・伊佐	1.22	熊本県	鹿本	1.29
240	熊本県	鹿本	1.12	熊本県	有明	1.22	新潟県	下越	1.29
241	新潟県	下越	1.12	愛知県	東三河北部	1.22	新潟県	上越	1.29
242	宮崎県	西諸	1.12	北海道	宗谷	1.22	福岡県	田川	1.29
243	北海道	留萌	1.12	北海道	後志	1.22	兵庫県	但馬	1.28
244	山形県	庄内	1.12	秋田県	大館・鹿角	1.21	兵庫県	淡路	1.28
245	福井県	奥越	1.12	熊本県	鹿本	1.21	北海道	中空知	1.27
246	鹿児島県	出水	1.12	新潟県	下越	1.21	広島県	呉	1.27
247	岩手県	両磐	1.12	北海道	南檜山	1.21	北海道	留萌	1.26
248	北海道	遠紋	1.12	兵庫県	丹波	1.21	和歌山県	御坊	1.26
249	鹿児島県	肝属	1.12	新潟県	魚沼	1.21	北海道	宗谷	1.25
250	北海道	上川北部	1.12	新潟県	上越	1.21	宮崎県	西諸	1.25
251	山形県	最上	1.12	福岡県	田川	1.21	山形県	庄内	1.25
252	北海道	南檜山	1.12	鹿児島県	熊毛	1.20	長野県	飯伊	1.25
253	鹿児島県	曾於	1.12	宮崎県	日南串間	1.20	北海道	北空知	1.24
254	秋田県	大仙・仙北	1.12	秋田県	能代・山本	1.20	北海道	遠紋	1.24
255	秋田県	北秋田	1.12	徳島県	東部Ⅱ	1.20	北海道	後志	1.24
256	岩手県	釜石	1.12	宮崎県	西諸	1.20	鹿児島県	熊毛	1.24
257	石川県	能登中部	1.11	香川県	三豊	1.20	岩手県	両磐	1.24
258	兵庫県	丹波	1.11	兵庫県	但馬	1.20	京都府	丹後	1.24
259	京都府	中丹	1.11	三重県	東紀州	1.20	福井県	奥越	1.24
260	新潟県	魚沼	1.11	兵庫県	淡路	1.20	北海道	上川北部	1.23
261	熊本県	有明	1.11	山形県	庄内	1.19	宮崎県	日南串間	1.23
262	愛知県	東三河北部	1.11	岩手県	両磐	1.19	鹿児島県	出水	1.23
263	香川県	三豊	1.11	和歌山県	御坊	1.19	東京都	島しょ	1.23
264	新潟県	上越	1.11	京都府	丹後	1.19	岩手県	宮古	1.22
265	兵庫県	但馬	1.11	岩手県	二戸	1.18	鹿児島県	肝属	1.22
266	北海道	宗谷	1.11	福井県	奥越	1.18	熊本県	球磨	1.22
267	和歌山県	御坊	1.11	鹿児島県	出水	1.18	秋田県	能代・山本	1.21
268	広島県	呉	1.11	鹿児島県	肝属	1.18	福島県	会津	1.21
269	長野県	飯伊	1.11	岩手県	釜石	1.18	高知県	幡多	1.21
270	北海道	後志	1.11	長野県	飯伊	1.18	山形県	置賜	1.21
271	熊本県	球磨	1.11	熊本県	球磨	1.18	鹿児島県	奄美	1.21
272	福島県	会津	1.11	北海道	北渡島檜山	1.18	秋田県	大館・鹿角	1.20
273	三重県	東紀州	1.11	東京都	島しょ	1.18	北海道	南檜山	1.20
274	北海道	北渡島檜山	1.11	鹿児島県	曾於	1.17	三重県	東紀州	1.20
275	秋田県	横手	1.11	和歌山県	新宮	1.17	長野県	北信	1.20
276	長崎県	対馬	1.11	秋田県	大仙・仙北	1.16	岡山県	津山・英田	1.20
277	宮城県	栗原	1.11	秋田県	北秋田	1.16	北海道	北渡島檜山	1.19
278	大分県	豊肥	1.11	福島県	会津	1.16	山形県	最上	1.19
279	福岡県	田川	1.10	高知県	幡多	1.16	和歌山県	新宮	1.18
280	兵庫県	淡路	1.10	山形県	最上	1.15	秋田県	横手	1.18
281	京都府	丹後	1.10	秋田県	横手	1.15	山口県	長門	1.18
282	高知県	幡多	1.10	長崎県	対馬	1.15	岩手県	二戸	1.17
283	山形県	置賜	1.10	山形県	置賜	1.15	鹿児島県	曾於	1.17
284	長野県	北信	1.10	長野県	北信	1.15	秋田県	大仙・仙北	1.17
285	岡山県	津山・英田	1.10	山口県	長門	1.15	愛媛県	宇和島	1.17

順位	都道府県名	二次医療圏名	2015年	都道府県名	二次医療圏名	2025年	都道府県名	二次医療圏名	2035年
286	愛媛県	宇和島	1.10	岡山県	津山・英田	1.14	香川県	小豆	1.17
287	和歌山県	新宮	1.10	愛媛県	宇和島	1.14	長崎県	対馬	1.16
288	奈良県	南和	1.10	奈良県	南和	1.14	奈良県	南和	1.16
289	愛媛県	八幡浜・大洲	1.10	徳島県	南部Ⅱ	1.14	広島県	備北	1.16
290	長崎県	五島	1.10	熊本県	芦北	1.14	愛媛県	八幡浜・大洲	1.15
291	高知県	高幡	1.10	愛媛県	八幡浜・大洲	1.13	山口県	柳井	1.15
292	島根県	益田	1.10	長崎県	五島	1.13	鹿児島県	川薩	1.15
293	秋田県	湯沢・雄勝	1.10	山口県	柳井	1.13	熊本県	芦北	1.14
294	徳島県	南部Ⅱ	1.10	宮城県	栗原	1.12	長崎県	五島	1.14
295	島根県	雲南	1.10	大分県	豊肥	1.12	高知県	高幡	1.14
296	徳島県	西部Ⅱ	1.10	高知県	高幡	1.12	秋田県	北秋田	1.13
297	鹿児島県	奄美	1.09	島根県	益田	1.12	徳島県	南部Ⅱ	1.13
298	東京都	島しょ	1.09	秋田県	湯沢・雄勝	1.12	宮城県	栗原	1.13
299	山口県	長門	1.09	鹿児島県	奄美	1.12	島根県	益田	1.13
300	香川県	小豆	1.09	広島県	備北	1.12	山梨県	峡南	1.13
301	広島県	備北	1.09	山口県	萩	1.12	島根県	隠岐	1.13
302	熊本県	芦北	1.09	香川県	小豆	1.11	秋田県	湯沢・雄勝	1.12
303	宮城県	登米	1.09	山梨県	峡南	1.11	島根県	雲南	1.12
304	山梨県	峡南	1.09	福島県	南会津	1.11	岡山県	真庭	1.12
305	岡山県	真庭	1.09	島根県	雲南	1.10	宮城県	登米	1.12
306	熊本県	天草	1.09	岡山県	真庭	1.10	岩手県	釜石	1.11
307	山口県	萩	1.09	熊本県	天草	1.10	大分県	豊肥	1.10
308	福島県	南会津	1.09	長崎県	上五島	1.10	山口県	萩	1.10
309	長崎県	上五島	1.09	鹿児島県	川薩	1.10	熊本県	天草	1.10
310	長崎県	壱岐	1.09	長野県	木曾	1.09	島根県	浜田	1.10
311	徳島県	西部Ⅰ	1.09	島根県	隠岐	1.09	福島県	南会津	1.09
312	長野県	木曾	1.09	島根県	浜田	1.09	鹿児島県	南薩	1.08
313	石川県	能登北部	1.09	高知県	安芸	1.09	長崎県	上五島	1.07
314	鹿児島県	川薩	1.08	宮城県	登米	1.08	高知県	安芸	1.07
315	山口県	柳井	1.08	長崎県	壱岐	1.08	長崎県	壱岐	1.07
316	島根県	隠岐	1.08	石川県	能登北部	1.08	徳島県	西部Ⅰ	1.06
317	島根県	浜田	1.08	徳島県	西部Ⅰ	1.07	長野県	木曾	1.05
318	鹿児島県	南薩	1.08	鹿児島県	南薩	1.07	徳島県	西部Ⅱ	1.05
319	高知県	安芸	1.08	徳島県	西部Ⅱ	1.06	石川県	能登北部	1.03
320	岡山県	高梁・新見	1.08	岡山県	高梁・新見	1.05	岡山県	高梁・新見	1.02
321	新潟県	佐渡	1.07	新潟県	佐渡	1.02	島根県	大田	1.00
322	島根県	大田	1.06	島根県	大田	1.01	新潟県	佐渡	0.95

D. 考察

4疾病については、今後とも医療需要の予測が見込まれる。「悪性新生物」については、前期高齢者の漸減傾向や中年層の人口の減少等により、いわゆる“がん”の好発年齢層の減少による医療需要の減少が、特に高齢化が現時点においても十分に進行している地方の医療圏で生じているものと思われる。

糖尿病、虚血性心疾患、脳血管疾患の医療需要の減少が少ないことは、人口構成の変化がこれら疾患の好発年齢層と合致しているためと考えられる。

大都市部やその周辺地域が含まれている医療圏で4疾病の医療需要が大きい、これらの地域は居住人口の絶対数が大きいことから、かなりの医療需要が将来生じることが示唆される。

E. まとめ

4疾病を合併した精神患者に対する医療需要は、今後ますます増大していくことと考えられる。また、精神医療は、5事業にも密接に絡むことから、精神医療を1つの疾病と捉えるのではなく、

精神医療を医療計画の中に網羅的に位置づけることが肝要である。

F. 発表

1. 論文発表
今後発表の予定あり
2. 学会発表
今後発表の予定あり

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

人口動態の変化からみた精神疾患推計患者数の将来予測

研究分担者

河原 和夫（東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 政策科学分野 教授）

研究協力者

島 陽一（東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 政策科学分野 大学院生）

菅河 真紀子（東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 講師）

研究要旨

【研究目的】今後さらなる高齢化、人口減少を迎える我が国においては、人口動態の変化に対応した視点での精神医療提供体制の在り方についても検討されるべきであると考え、人口動態の変化に対応した精神疾患患者数の変化からみた需要を予測することで、精神医療提供体制の需給バランスを検討するにあたっての基礎データを作成することを目的として本研究を実施した。

【研究方法】平成20年患者調査における推計患者数と、国立社会保障・人口問題研究所の人口統計、および将来人口推計を用いて、二次医療圏ごとの性年齢階級別人口（5歳階級）の推計患者数の総和として、精神疾患の推計患者数を2035年まで5年ごとに算出し積算した。なお、入手データの精度の都合上、受療率が全国一律かつ将来も不変であると仮定せざるを得ず、よって結果はあくまでも人口動態推移に対応した推計患者数の変化をみたものである点に留意が必要である。

【研究結果】精神疾患は全体の推計患者数が2025年より横ばいとなり2030年からは減少していく一方、疾病分類別では認知症性疾患の増加が著しく、また年齢階級ごとの内訳からは、高齢者が増加する。入院・外来別においては入院患者数が漸増し、外来患者数は漸減していく。精神疾患を副病名に有する疾患の推計患者数（精神身体合併症患者を反映）も増加し、特に4疾病（脳血管疾患、悪性新生物、糖尿病、虚血性心疾患）のうち脳血管疾患において精神障害を有する患者数が著明に増加する。

【結論】精神疾患は全体としては2030年を境に減少していくが、認知症を中心とした高齢者、精神身体合併症はむしろ増加することから、今後は高齢者、身体合併症者への対応を強化した施策が必要であることが示唆された。これら結果から、精神科急性期医療も含め、入院医療の主要資源を短期集中的な手厚い医療にシフトし、一方それを補完するために、療養病棟、ニューロングステイ対応病床、地域の診療所、訪問看護、福祉介護との連携を重視した医療提供体制整備を進めていく必要があることが再認識できた。

A. 研究の目的

近年の精神医療需要の多様化により、地域ごとに疾病や病態に応じた医療提供体制の整備が望ましいのは言うまでもない。今後の精神医療のあり方については、平成21年9月24日に発表された「今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会」報告に基づき、平成22年5月から「新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チーム」により、地域の視点にたった医療提供体制の構築をめざしたグランドデザインが議論されている。精神科救急医療、精神身体合併症医療、認知症医療における精神医療の役割など、これまでも都道府県単位を中心とした施策として進められてはいたものの全国的には十分に確立しているとはいえない医療提供体制のあり方についても議論が進められている。

今回我々は、今後さらなる高齢化、また人口減少を迎える我が国において、人口動態の変化に対応した視点での精神医療提供体制の在り方についても検討されるべきであると考え、人口動態の変化に対応した精神疾患患者数の変化からみた需要を予測することで、精神医療提供体制の需給バランスを検討するにあたっての基礎データを作成することを目的として本研究を実施した。

B. 方法

平成20年患者調査における推計患者数と、国立社会保障・人口問題研究所の人口統計、および将来人口推計を用いて、二次医療圏ごとに推計患者数を2035年まで5年ごとに算出し積算した。なお、2008年の人口における5歳階級の性年齢階級別構成は、全国としてのデータしか公表されていないため、2008年の5歳階級の性年齢階級別人口は、全国一律と仮定せざるを得なかった。また、平成20年患者調査において、推計患者数における5歳階級の性年齢階級別構成は、全国としてのデータしか公表されていないため、こちらも全ての二次医療圏において一律と仮定した。よって、精神疾患の性年齢階級別の受療率（2008年の性年齢階級ごとの推計患者数÷2008年の対応する性年齢階級人口）も全国一律と仮定される。さらに将来的にもこの受療率が一定であるという仮定のもとに、将来人口推計を二次医療圏ごとにまとめた表を作成の上、先の受療率に対応する性年齢階級人口を掛けることで、当該性年齢階級および二次医療圏における推計患者数を求め、全体を足し合わせたものを、将来の推計患者数とした。また、用いた将来人口推計は市町村ごとの推計であり、一つの市に複数の二次医療圏があるもの（例えば横浜市）については、それら複数の二次医療圏の集合として推計患者数の推移予測を計算することとなった。結果の検討に際してはこうした誤差が生じているという前提の上での解釈が必要である。なお、推計患者数の性年齢階級別構成は都道府県ごと、および二次医療圏ごとに同調査に公表されているが、年齢は10歳刻みである。また総患者数も都道府県ごとに性年齢階級別構成が公表されているが、こちらも10歳階級での公表である。2008年人口の都道府県ごとの性年齢階級別構成は、3区分による公表しかなくない。これらのデータを用いて推計患者数の推移を算出する方法も考えられるが、今回実施した方法と同様、結果に誤差が生じるものである。なお、推計患者数は、あくまでも当日に医療機関を受診した患者数の推計であり、総患者数とは異なる。

以上の通り、今回の分析は受療率が不変かつ全国一律であると仮定した推計予測であり、社会的要因を背景とする医療需要の変化（例えば、社会構造の変化などに影響された感情障害や適応障害の増加、自殺対策や精神疾患の啓発施策の効果による精神疾患の早期発見にともなう患者数の増加など）およびそれらに伴う医療提供体制の変化の影響は考慮に入れていない。あくまでも人口動態推移に対応した推計患者数の変化をみたものであり、つまり人口減少、少子・高齢化にともなう精神疾患患者数の変化という視点での推計予測である。よって、本研究の結果は、人口動態の変化に対応した今後の精神医療提供体制の検討をするという目的での利用が望ましい。

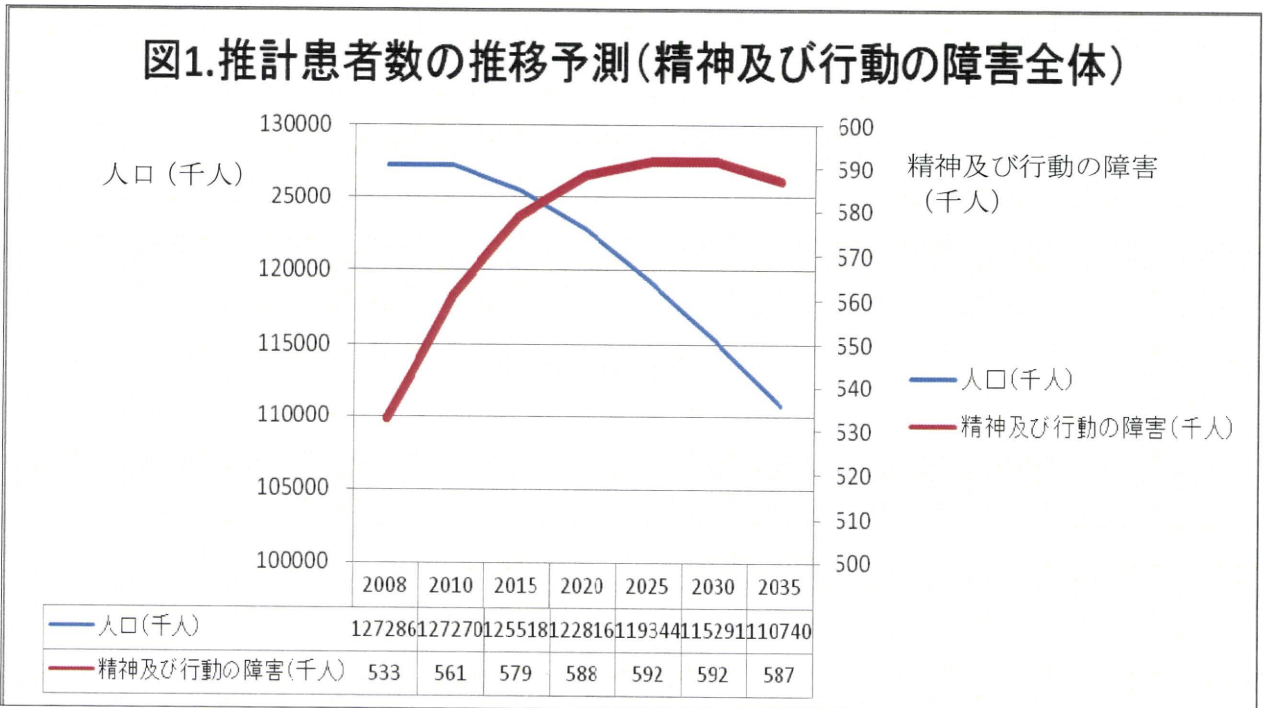
なお、本研究は疫学研究に関する倫理指針を遵守して実施したが、分析に用いたデータは全て厚生労働省および国立社会保障・人口問題研究所で広く国民に公開されているものであり、倫理面での問題は生じていない。

C. 結果

上記B.方法によって算出された推計患者数の将来予測は次の通りである。

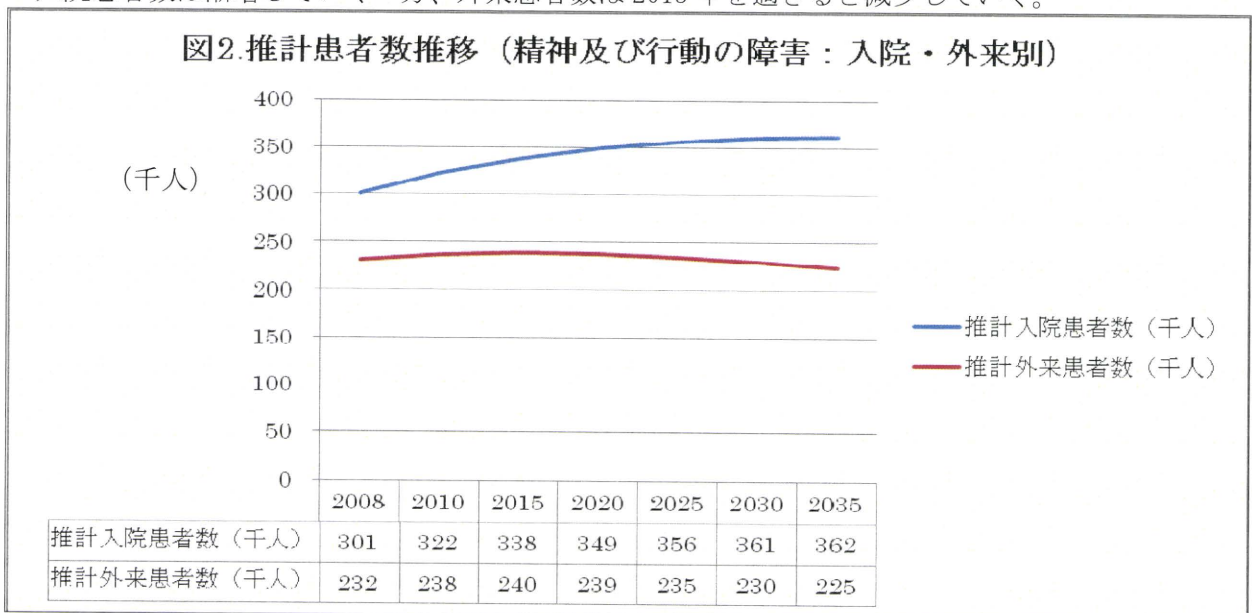
1) 精神及び行動の障害全体の推計患者数（アルツハイマー病、てんかんは神経疾患に分類されているため、この図には反映されていない）：図1

精神及び行動の障害全体の推計患者数は漸増していくが、2030年以後低下の兆しを見せる。しかし人口が漸減していくので、人口に占める割合はむしろ上昇していく。



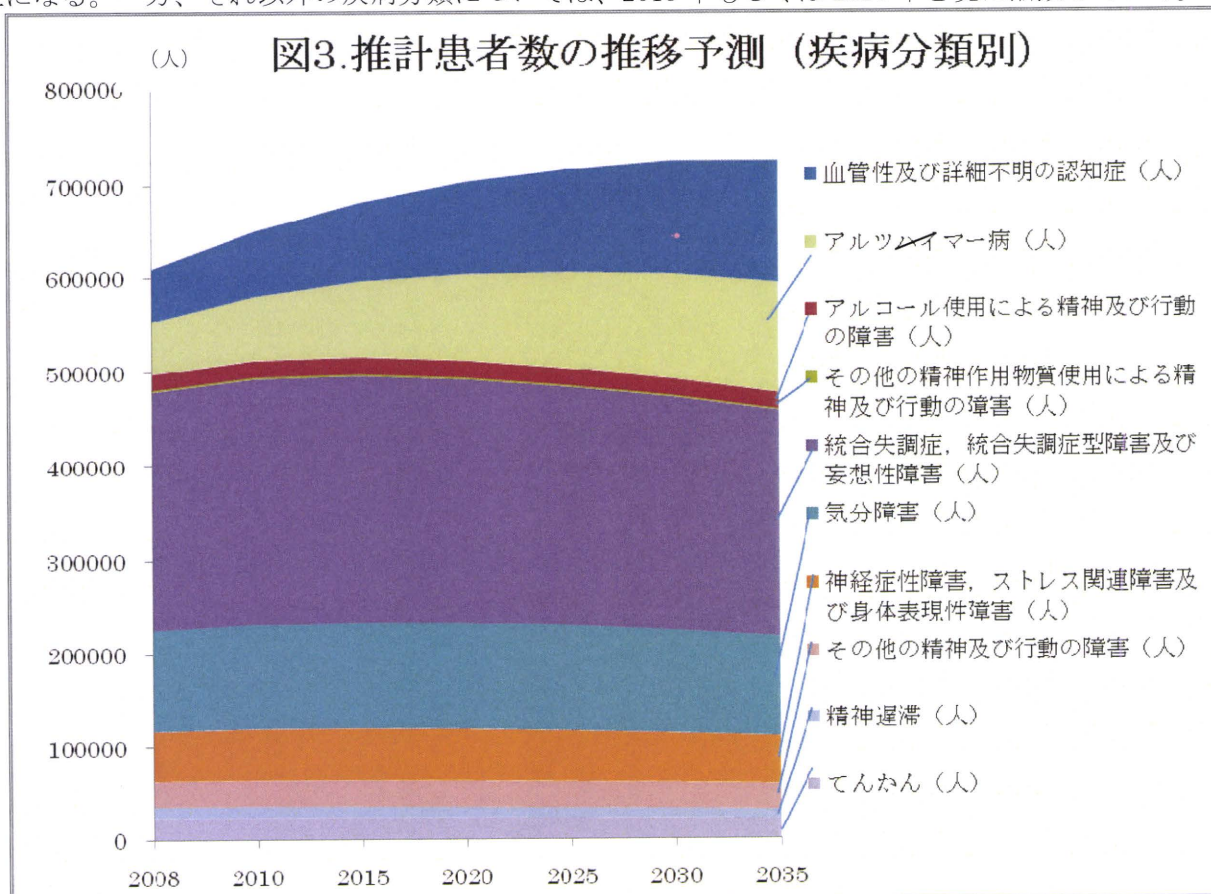
2) 精神及び行動の障害全体の入院・外来別の推計患者数推移（アルツハイマー病、てんかんは神経疾患に分類されているため、この図には反映されていない）：図2

入院患者数は漸増していく一方、外来患者数は2015年を過ぎると減少していく。



3) 疾病分類別の推計患者数(神経疾患に分類されているアルツハイマー病、およびてんかんも含む。ただし、てんかんについては診療科が多岐にわたるため純粋な精神医療需要を反映していないと考えられる。)：図3

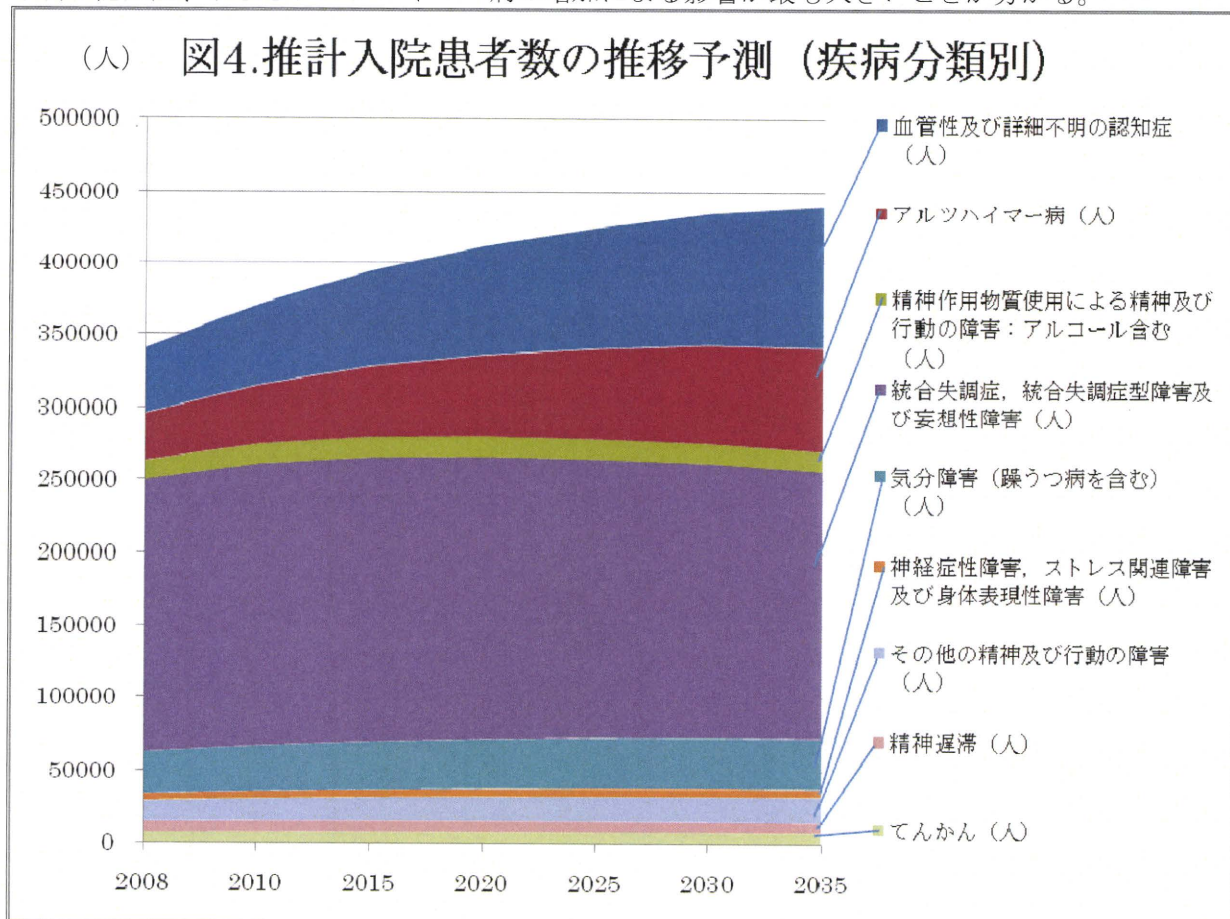
血管性及び詳細不明の認知症、およびアルツハイマー病は今後も増加し、2035年には現在の倍以上になる。一方、それ以外の疾病分類については、2015年もしくは2020年を境に漸減していく。



	2008	2010	2015	2020	2025	2030	2035
血管性及び詳細不明の認知症(百人)	571	710	854	988	1102	1208	1302
アルツハイマー病(百人)	548	675	801	917	1021	1114	1168
アルコール使用による精神及び行動の障害(百人)	169	178	182	181	178	175	172
その他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害(百人)	24	24	24	23	22	21	20
統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害(百人)	2535	2602	2607	2576	2526	2472	2398
気分障害(百人)	1085	1127	1146	1150	1136	1110	1074
神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害(百人)	543	559	564	561	551	536	517
その他の精神及び行動の障害(百人)	276	284	286	285	282	281	277
精神遅滞(百人)	117	117	115	111	107	103	98
てんかん(百人)	236	241	240	236	231	225	218

4) 推計入院患者数の推移予測（疾病分類別）：図4

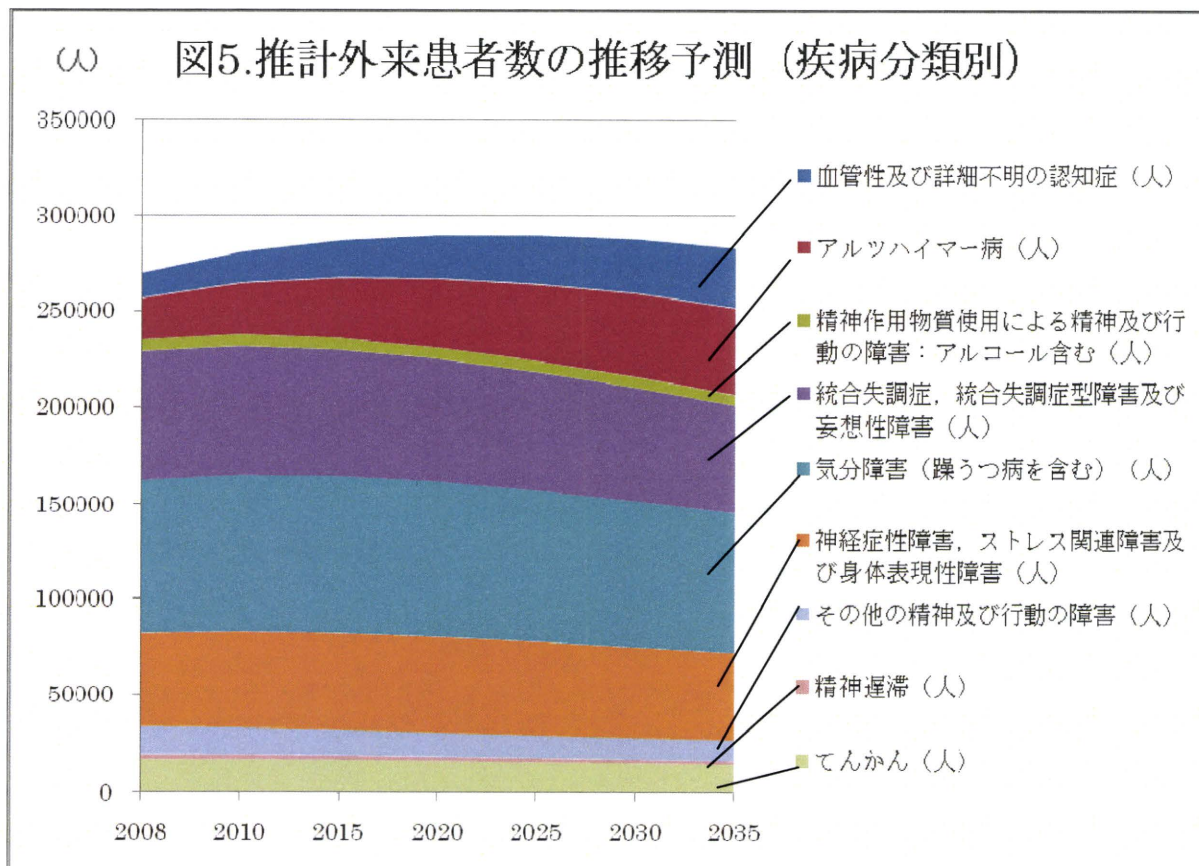
血管性及び詳細不明の認知症、およびアルツハイマー病の増加が目立ち、2035年には現在の倍以上になる。一方、それ以外の疾病分類については、2015年もしくは2020年を境に漸減していく。その他の精神及び行動の障害が微増していくが、それ以外の疾病分類においては2020年～2030年の間にピークとなり、以後横ばいもしくは減少傾向を示す。推計入院患者数の増加は、血管性及び詳細不明の認知症、およびアルツハイマー病の増加による影響が最も大きいことが分かる。



	2008	2010	2015	2020	2025	2030	2035
血管性及び詳細不明の認知症(百人)	442	547	657	758	844	924	991
アルツハイマー病(百人)	328	405	482	554	617	674	712
精神作用物質使用による精神及び行動の障害：アルコール含む(百人)	133	141	145	144	143	141	138
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害(百人)	1871	1937	1955	1943	1915	1885	1837
気分障害(躁うつ病を含む)(百人)	288	312	330	342	349	352	349
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(百人)	49	52	54	56	57	57	56
その他の精神及び行動の障害(百人)	137	148	156	162	166	169	170
精神遅滞(百人)	84	85	85	84	81	79	75
てんかん(百人)	71	75	77	78	79	79	78

5) 推計外来患者数の推移予測（疾病分類別）：図5

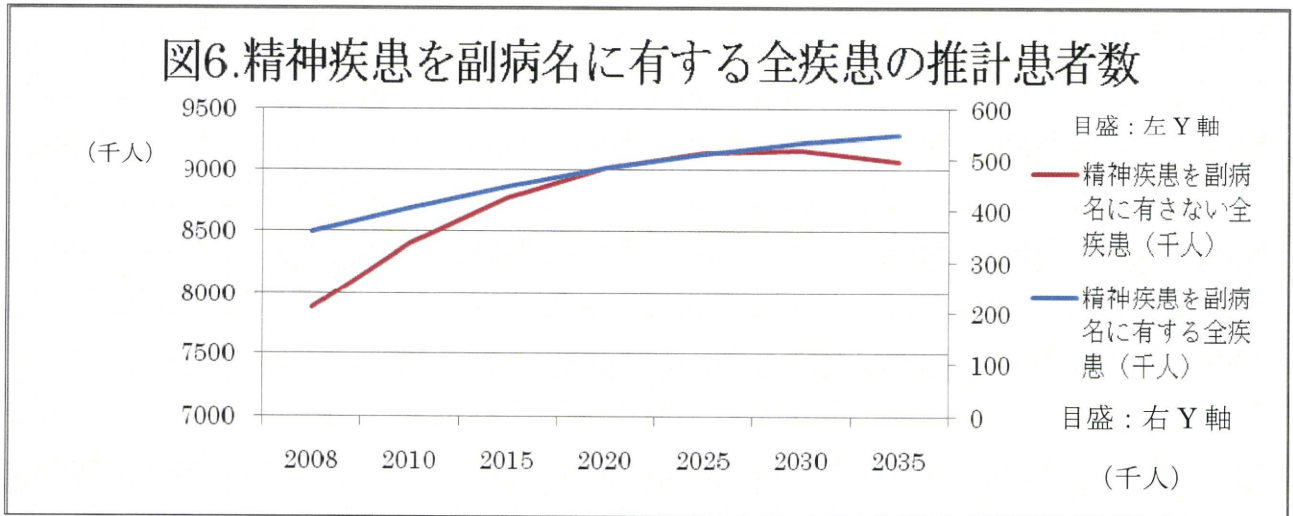
推計入院患者数と同様、血管性及び詳細不明の認知症、およびアルツハイマー病は増加の一途をたどり、2035年には現在の倍以上になる。他の疾病分類は2015年を境にゆるやかに減少する。



	2008	2010	2015	2020	2025	2030	2035
血管性及び詳細不明の認知症(百人)	127	160	195	228	257	283	310
アルツハイマー病(百人)	218	269	317	362	403	440	456
精神作用物質使用による精神及び行動の障害：アルコール含む(百人)	59	60	60	58	56	55	53
統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害(百人)	662	663	649	629	607	582	554
気分障害(躁うつ病を含む)(百人)	800	819	821	812	792	763	730
神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害(百人)	492	504	507	502	490	474	455
その他の精神及び行動の障害(百人)	139	136	130	123	116	111	106
精神遅滞(百人)	29	27	26	24	22	21	20
てんかん(百人)	166	167	164	160	154	148	142

6) 精神疾患を副病名に有する全疾患の推計患者数の推移予測：図6

精神疾患を副病名に有する疾患の推計患者数は2035年にかけて増加する。一方、精神疾患を副病名に有さない疾患の推計患者数は2030年以降減少傾向を示し、精神身体合併症医療の需要が今以上に増すことが示唆される。

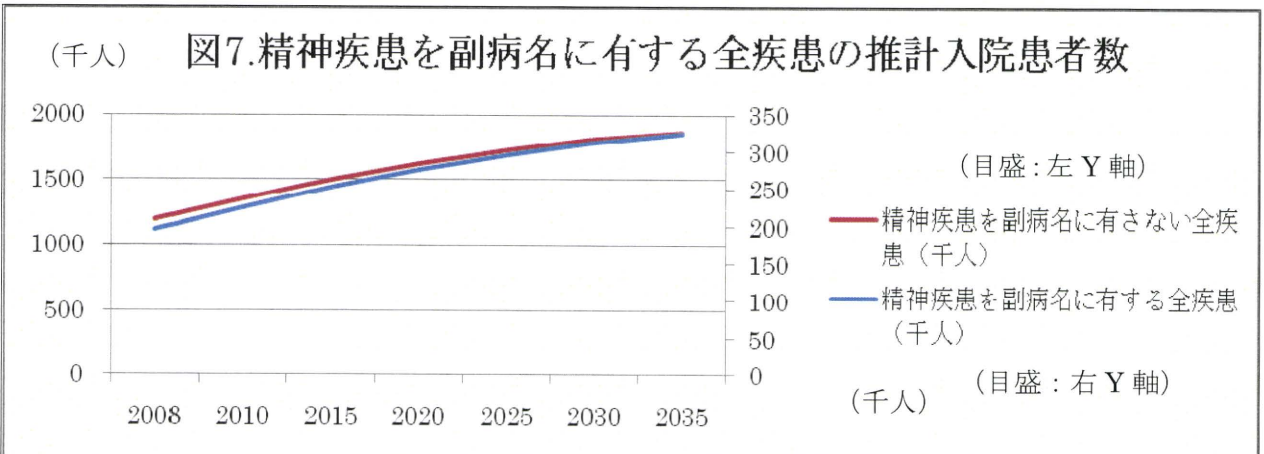


	2008	2010	2015	2020	2025	2030	2035
精神疾患を副病名に有する全疾患(千人)	360	405	447	483	512	535	549
精神疾患を副病名に有さない全疾患(千人)	7873	8404	8768	9016	9142	9163	9071

7) 精神疾患を副病名に有する全疾患の推計入院患者数の推移予測：図7

図6で示したもののうち推計入院患者の再掲である。

精神疾患を副病名に有する疾患の推計入院患者数は年々増加し、2035年には現在の約1.5倍となる。なお、精神疾患を副病名に有さない推計入院患者数も同様に増加する。



	2008	2010	2015	2020	2025	2030	2035
精神疾患を副病名に有する全疾患(千人)	194	223	251	275	294	312	324
精神疾患を副病名に有さない全疾患(千人)	1195	1355	1500	1625	1726	1810	1863